

インフラテック・ジャパン：企業概要書 (2025/10/18 更新)

■インフラテック・ジャパンの概要

- ・インフラメンテナンス企業の M&A を推進し、グループ企業群としての成長を目指す
- ・株式会社インタープレジデントの社内ベンチャーとして準備開始 (2024 年 10 月より)
- ・2026 年 4 月頃を目途に、新会社を設立予定
- ・WEB サイト： <https://infratech-jp.com/>

■代表プロフィール

インフラテック・ジャパン 代表 新田 憲佑

静岡県浜松市生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。

早稲田大学大学院ファイナンス研究科 (MBA) 修了。

外資系コンサルティング会社 (PwC、アクセンチュア) やベンチャー企業にて、経営企画、M&A、事業開発、ファイナンスなどに従事。

2010 年、株式会社インタープレジデントを創業。2015 年、株式会社サイバーセキュリティクラウド (東証グロース：4493 / 当時 IPO 前) の代表就任 (退任済)。

「インフラの老朽化」に対する問題意識から、「インフラメンテナンス分野の M&A・現場 DX・グローバル展開」の可能性に注目し、2024 年に「インフラテック・ジャパン」の立ち上げ開始。

■M&A 対象企業

<業種>

- ・橋梁・トンネル・道路の点検・診断・補修・補強
- ・上下水道管の点検・診断・補修・補強
- ・地盤・法面の点検・診断・補修・補強
- ・プラント・発電所などの点検・診断・補修・補強
- ・その他、社会インフラ・産業インフラの維持管理・長寿命化に貢献する企業

<地域>

- ・日本全国 47 都道府県が対象 (ただし、人材採用の観点から、都市部 (目安人口 20 万人以上) が望ましい)

<規模>

- ・企業規模は問わず

<組織>

- ・従業員の平均年齢が高すぎないこと (目安として平均年齢 50 歳以下)

<その他>

- ・元請け、下請けとしての取引実績が豊富。発注元からの評価が高い
- ・新しいことに挑戦する社風がある。成長意欲が高い人材がいる (特に若手)

■当社が解決したいインフラメンテナンス企業の課題

- ・インフラメンテナンス企業は、中小企業が90%以上を占めている
- ・多くの企業が、「施工力・技術力の不足」、「メンテナンス技術者の不足」、「入札・営業力の不足」、「DX・デジタル活用の遅れ」などの課題を抱えている
- ・私たちは、中小企業が1社単独でできることには限界があるため、M&Aによりグループ企業群を形成した方が成長・進化しやすいと考えている

■インフラテック・ジャパンに参画いただくメリット

1. 超長期保有（EXIT（数年後の売却）を目指さない）
2. 独立経営（親会社による影響力が強すぎない）
3. 事業シナジー（グループ企業間で、技術・ノウハウを共有）
4. 業務連携（グループ企業が、営業・人材採用・育成面で連携）

⇒グループ各社が、各地域・各業種でシェア No.1 を実現し、グループ企業群として成長

■IME との協業による M&A 戦略

- ・インフラテック・ジャパンと IME 株式会社は、中小インフラメンテナンス企業が抱える経営課題の解決に貢献すべく、橋梁・トンネルの補修・補強工事企業の「M&A・事業承継」および「事業拡大・新規参入支援」にて協業を開始

【参考】 <https://infratech-jp.com/news/2025/1236/>

■IME 株式会社の概要

- ・「橋梁・トンネルの補修・補強工事」に特化したインフラメンテナンス企業
- ・国内トップレベルの施工力・技術力、卓越した実績、業界ネットワークを有する
- ・国内で唯一、同業他社に対する「施工・技術サポート」、「入札・営業サポート」、「メンテナンス製品販売」、「設計サポート」、「技術者育成支援（現場インターンシップ）」を提供
- ・2023 年の創業以来、急速に事業を拡大（2 期目の売上高：7 億円超）

■IME 代表プロフィール

IME 株式会社 代表取締役 大西猛 様

愛知県生まれ。近畿大学・理工学部建築学科卒。

業界最大手のショーボンド建設にて、橋梁・トンネルの補修・補強工事に従事。

その後、山陽ロード工業では、メンテナンス事業部長として率いて、メンテナンスに関わる事業を、年商 14 億円超にまでに成長させた。

「インフラメンテナンス事業を日本全国に展開したい」との思いから、2023 年、当社設立。コンクリート主任技士（JCI）、コンクリート診断士（JCI）、1 級構造物診断士（NSI）。